南三陸消防署 歌津出張所完成

皆さんに感謝

伊里前にあった消防庁舎が震災で被災したため、歌津中学校の倉庫や平成の森でのトレーラーハウス、そして仮設庁舎での消防業務を行ってきました。その当時のことを思うと、署員たちは相当な苦労があったのかなと思います。特に倉庫やトレーラーハウスの時は、まともな装備がなかったので、かなり苦労したと思います。平成25年4月から仮設庁舎へ移り、庁舎設備、施設ともに整い、本設と変わらない環境で業務を行なうことができました。年々、仮設の環境が整ってきたので、町や関係者の皆さんにはとても感謝しています。

今までできなかった訓練実施へ

これまで、学校の倉庫やトレーラーハウスではできない訓練がありました。また、業務においても手狭な中で行うことはそれぞれのプライバシーも保てませんし、業務をする上では、不都合な点が多々ありました。新庁舎は、その辺がしっかりと整い、特に仮眠室は個室になりました。普段、24時間詰めているものですから、プライバシー空間がないので、そういった中で個室の仮眠室を整備していただいたことはありがたいことです。少ない休憩時間の中でしっかりと休むことができるのではないかと思います。訓練においても専用の訓練施設が整いましたので、これらを活用して、今までできなかった訓練をしっかりやっていきたいと思います。

連携・啓発の推進

火災、災害が発生した場合には、ここを拠点として、しっかりと対応するために準備を進めていきたいと思います。特にここは役場であるとか、平成の森であるとか歌津地区の中心的な場所となっているので、これまで以上に緊密な連携をとり、住民の皆さんや避難してきた皆さんの目線で業務ができるようにしていきたいと思います。

南三陸消防署歌津出張所長　高橋厚浩さん

また、時々なのですが、復興作業員の人たちが仕事の中で、けがをされたり、事故をされたりするので、作業員を対象に救急講習を開催していきたいと思います。あと、新しい団地に移り住み、新しいコミュニティーが始まる中で、住民のコミュニティー形成に役に立つような救急講習や防火座談会を実施していきます。

平成の森野球場リニューアル

念願の施設誕生

平成の森野球場は平成3年に完成しました。旧歌津町は、漁港整備や道路整備が中心だったのですが、町の象徴的な施設ができました。また、当時は、朝野球が行われていました。朝野球は学校の校庭を借りてやっていましたので、そういった意味でも愛好者にとっては、念願の施設であったと思います。町の規模から考えて、大きい施設ではありましたが、利用者にとっては素晴らしい施設だったと思います。施設ができたことで、今まで朝野球だったのが、ナイター野球に切り替わったのです。ナイターで野球ができるということは、近隣の市町と比較してもとても珍しかったですね。ナイターを使ってプレーすると自分がプロ野球選手になったような気分が味わえたのです。そのような経験をさせてもらったことはとても感謝しています。

平成の森を東北の聖地へ

建設から25年が経過し、老朽化してきたため、野球場を改修しました。整備の内容として、甲子園と同等の土（鹿児島県産の火山灰が混ざった土と岩手県産の火山灰が混ざった土、それぞれ1対1）。そして、Ｋｏｂｏパーク宮城と同じ芝（東北でもまれな西洋芝）に改修されたということは、こんなに素晴らしいことはないと思います。東北でも屈指の場所になると思います。ここでプレーすれば甲子園でプレーするのと同じです。それに合宿所もあるので、ぜひ、県内外から来てほしいですね。もちろん、地元の子どもたちがこの土、この芝を体感して、甲子園を目指すような高い志を持つ子が少しでも増えてほしいですね。

楽天イーグルス 平成の森球場が誕生

5月21日（日）、スポーツの振興と青少年健全育成を目的に、株式会社楽天野球団との間で、パートナー協定を締結しました。この協定締結により、今後楽天野球団との交流活動が盛んに行われるほか、平成の森野球場の愛称が、「楽天イーグルス平成の森球場」として決定しました。ぜひ、皆さん、この愛称を覚えてくださいね。

皆さんに愛される球場に

グラウンド、そして愛称。平成の森球場は、素晴らしい施設として生まれ変わりましたので、皆さんには、この施設を愛してほしいと思います。これまで以上に施設に愛情を持って、自慢して利用してもらいたいと思います。震災でみんな大変な思いをしてきました。この施設を使ってもらい、明るく、そして楽しく過ごしていただきたいと思います。

生涯学習課長　三浦勝美さん

歌津総合支所開庁

色んなものが集約された場所

新しい歌津総合支所は、平成の森敷地内の安心安全な高台、そして、歌津地区内に17行政区ある中で、どの行政区からも行きやすい場所に位置しています。近隣には、平成の森や老人福祉センターに加え、新たに南三陸消防署歌津出張所もできました。そして、歌津総合支所は、支所だけではなく、歌津公民館、歌津保健センターも併せた施設となります。1カ所の方が行政サービスを受ける人もいいですよね。そういった意味でも3つの施設を集約し、そして既存の周辺施設も合わせて利用していただくことで使いやすい施設造りがされたのかと思います。

みんなが集えるマチドマ

新しい歌津総合支所には「マチドマ」という町民の皆さんの交流スペースができました。こういったスペースは、被災前の支所庁舎にはなかったものですし、仮設の庁舎にもなかったものです。「マチドマ」は、町民の皆さんの協働の場、さらには情報発信・交流の場として使われます。震災でばらばらになった歌津地区の地域コミュニティーが再生する一つのきっかけづくりの場所になればいいかなと思います。また、支所は、平屋建てなので、お年寄りから家族連れまで、気軽に来庁していただきたいと考えています。どうしても役所の建物だと用事だけ済ませて帰ってしまうので、「マチドマ」に集ってほしいですね。そのためには、まずは気軽に利用していただくような雰囲気づくりをしていかなければと考えています。

親しまれる支所づくりを

震災後、歌津総合支所は、平成の森レストランの中で平成24年3月まで業務を行ってきました。その後、仮設庁舎へ移りましたが、支所本設のため、平成28年5月に移転しました。そして、ようやく新しい庁舎が開庁します。これまで、町民の皆さんにご不便をお掛けしてきましたが、これからは、更に町民の皆さんに親しまれるような雰囲気づくりに努めていきたいと思います。

歌津総合支所長　阿部修治さん